学校番号	3037

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究　詳説　日本史　（山川出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院） 4ステージ演習ノート　日本史（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

過去に起こった出来事を知るにはどのような手段が考えられるだろうか？
歴史学は、文字で書き残された記録を分析する学問から始まった。もちろん、文字のない時代や文字をもたない人々も歴史をつくってきたのだから、文字以外の遺跡や遺物などを扱う考古学も、歴史学を支えてきた。しかし、これら資料に残されているのは、過去の出来事そのものではなく、過去の出来事の痕跡でしかない。歴史を理解するには、資料から事実を抽出し、ほかの資料と比較したり結び付けたりして時代をとらえることが重要である。「暗記科目」と言われがちな日本史であるが、この授業では、資料を読み解き、考える力を大切にしてもらいたいと考えている。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握しその解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史上の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代を生きる日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	日本の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりしている。また、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本の歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本文化のあけぼの	1.文化の始まり 2.農耕社会の成立	a:旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成や原始社会の特色を理解している。 b:　旧石器時代から縄文時代、弥生時代へと移行する中で、日本列島の自然環境がどのように変化し、人々の生活や文化にどのような影響を与えたかなどについて多面的・多角的に考察し、まとめている。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成や原始社会の特色への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	古墳とヤマト政権	1.古墳文化の展開 2.飛鳥の朝廷	a: 国家の形成と古墳文化の展開などを基に、政治・社会や文化の特色を理解している。 b: 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:古代国家の形成や古墳文化の展開への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	律令国家の形成	1.律令国家への道 2.平城京の時代 3.律令国家の文化 4.律令国家の変容	a: 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、政治・社会や文化の特色を理解 b. 地方の諸勢力の成長や東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:律令体制の成立過程や諸文化の形成への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	貴族政治の展開	1.摂関政治 2.国風文化 3.地方政治の展開と武士	a: 貴族政治の変容や東アジアの国々との関係などを基に、政治・社会や文化の特色を理解している。 b: 律令体制の行き詰まりから地方政治の在り方が変容した結果、社会にどのような影響を与えたのかということを基に、諸資料を活用し、多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:貴族政治の変容や地方政治の展開への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	院政と武士の躍進	1.院政の始まり 2.院政と平氏政権	a: 政治主体や土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 b:政治主体の変容に着目し、中世の政治や文化の特色を諸資料から多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:中世の政治や文化の特色への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	武家政権の成立	1.鎌倉幕府の成立 2.武士の社会 3.モンゴル襲来と幕府の成立 4.鎌倉文化	a: 武家政権の成立と展開，産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張や、社会・文化の特色を理解している。 b:公武関係の変化、宋・元などとの交流と経済や文化への影響などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを多面的 ・ 多角的に考察し、効果的に表現している。 c:武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
2学期	武家社会の成長	1.室町幕府の成立 2.幕府の衰退と庶民の台頭 3.室町文化 4.戦国大名の登場	a: 武家政権の変容、日明貿易の展開、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 b:武家社会の変容と文化の特色に着目して、諸資料から多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:武家政権の変容と文化の特色への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	近世の幕開け	1.織豊政権 2.桃山文化	a:織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 b:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c: 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などへの関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	幕藩体制の成立と展開	1.幕藩体制の成立 2.幕藩社会の構造 3.幕政の安定 4.経済の発展 5.元禄文化	a: 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 b: 幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色について、諸資料から考察し、効果的に表現している。 c:幕藩体制や当時の社会・経済・文化への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	幕藩体制の動揺	1.幕政の改革 2.宝暦･天明期の文化 3.幕府の衰退と近代への道 4.化政文化	a：産業の発達，飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 b：社会･経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを効果的に表現している。 c:幕府政治の動揺や諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活文化への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	近世から近代へ	1.開国と幕末の動乱 2.幕府の滅亡と新政府の発足	a：対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。 b：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家･社会の変容を多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c：対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などへの関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	近代国家の成立	1.明治維新と富国強兵 2.立憲国家の成立	a: 開国後の社会変化・権力闘争の経緯や明治新政府の諸政策について理解している。 b: 開国前後の国際情勢・国内情勢をうけて、開国後の社会変化・権力闘争の経緯や明治新政府の諸政策の意義を歴史的に考察し、効果的に表現している。 c: 開国後の社会変化・権力闘争の経緯や明治新政府の諸政策への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
3学期	近代国家の展開	1.日清･日露戦争と国際関係 2.第一次世界大戦と日本 3.ワシントン体制	a:日清・日露戦争、第一次世界大戦について、戦争が及ぼした影響などに着目して、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化などについて理解している。 b ：日清・日露戦争、第一次世界大戦について、戦争が及ぼした影響などに着目して、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化などについて、諸資料から多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c：複雑な国際関係の中での日本の行動や立ち位置への関心を高め、戦争の様相や背景、影響について意欲的に考察･探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート､レポート課題等

	近代の産業と生活	1.近代産業の発展 2.近代文化の発達 3.市民生活の変容と大衆文化	a: 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、近代の社会や文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 b:近代の文化や生活の特色を示す諸資料から、大衆文化発展の背景や、産業革命や大衆化が進む中で生じてきた問題について多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:近代の産業や文化の発展、その中で生じてきた問題への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	恐慌と第二次世界大戦	1.恐慌の時代 2.軍部の台頭 3.第二次世界大戦	a:恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 b:国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:戦争が人類全体に惨禍を及ぼしたことに着目し、平和で民主的な国際社会の実現に関する問いを設定し、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	占領下の日本	1.占領と改革 2.冷戦の開始と講和	a:占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復について理解している。 b:第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復の推移や展開を考察し、国際情勢とも関連付けて効果的に表現している。 c:日本の独立の経緯や、その後抱えることになった問題への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等
	高度成長の時代	1.55 年体制 2.経済復興から高度経済成長へ	a: 戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 b: 主権回復後の日本の動向や国際情勢をうけて、高度経済成長の経緯や日本・世界が直面している課題を諸資料から歴史的に考察し、効果的に表現している。 c: 主権回復後の日本の動向や国際情勢への関心を高め、高度経済成長の経緯を意欲的に追究するとともに、日本・世界が直面している課題について考察を深めようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

	激動する世界と日本	1.経済大国への道 2.冷戦の終結と日本社会の変容	a:冷戦構造の崩壊と世界のグローバル化が進み、経済停滞、不安定な国際情勢など、20 世紀末から 21 世紀にかけて激動する世界の中で、日本が有する課題について理解している。 b: 日本と世界の相互の関わり、日本社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 c:冷戦終結後の世界情勢の変化への関心を高め、現在および今後の国際社会の展開について意欲的に考察・探究しようとしている。	定期考査	定期考査、ワークシート	ワークシート、レポート課題等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度